

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

□障害者差別解消法と

地域包括ケアのまちづくり・・・1P

□ゆいの会から聞く知多市総合事業・・・2P

□刈谷市「協働のまつり場」・・・2P

□つながるまち、阿久比推進事業・・・2P

□防災ママカフェ@知多市・・・3P

□中学生職場体験・・・・・・・・・・・・・・3P

□NPO担当若手職員リレー・・・・・・・・・・・・3P

□サポートちた 今後の事業予定・・・・・・3P

□インフォメーション・・・・・・・・・・・・・・4P

障害者差別解消法と地域包括ケアのまちづくり

国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定され、4月から施行します。

NPO法人知多地域成年後見センターが監事を務める、全国権利擁護支援ネットワークでは、2月13、14日に日本福祉大学東海キャンパスで、第7回全国権利擁護支援フォーラムを開催し、全国から200人が参加しました。

基調講演の竹中勲同志社大学法科大学院教授は、憲法学の立場から「意思決定支援」を「自己人生創造希求権」に基づく、支援者の代行決定（誘導）にならない支援で、自由権・社会権の保障をと提言。続く鼎談で、平野隆之日本福祉大学教授が、知多地域成年後見センターの事例から、本人の周りの人垣を専門家に限定しないで増やしていくことが、「その人らしい幸せを実現する」と解説しました。

後見センターが継続して行っている成年後見制度専門支援員養成研修、成年後見サポーター研修講座、権利擁護サポーター講座等、層厚く行ってきた人材育成が、ちた地域の0～100歳の地域包括ケア体制づくりに寄与するのは間違いありません。多重多層ネットワーク形成が求められています。（岡本）

知多2市2町障がい者支援ネットワークフォーラム

2月27日に、東海市勤労センターで開催。「障害のある人もない人も共に暮らせるまちづくり～

障害者差別解消法施行を前に～」と題して玉木幸則さんが基調講演を行った。

障害者相談支援専門員、Eテレ「バリバラ」のパーソナリティ玉木さんは、脳性まひの障害を持ちながら聴衆を引き付ける語りで障害者差別解消法の本質を分かりやすく解説した。障害者は、ふつうに地域で暮らすためにどれほど不自由であるか、その状況への配慮がないことも差別である。特に、障害福祉サービス事業所は、本人、家族、地域住民などいろいろな立場の人から注目される。「不当な差別的取り扱い」はないか？「合理的配慮の不提供」はないか？真にソーシャルインクルージョンをめざす姿勢が問われ始めた。

第2部2市2町の活動報告では、知多翔洋高校「まちの先生」で知多市部会が実践した「高校生と知的障害のある方との交流会」の内容を報告した。レクリエーションプログラムの企画実践をした高校生が、自然に相手の困りごとに配慮していたことから、「障害者がふつうに地域で暮らす土壌作りの一つとして、教育の力は大きい」と感じた。（五十嵐）

講演会のご案内

5月26日(木) 午後 会場未定
(NPO法人地域福祉サポートちた 総会后)

奥田知志 氏 認定NPO法人抱樸理事長
「生活困窮者支援と地域包括ケア」仮題

ぜひ、ご予約おきください

■NPO法人ゆいの会から聞く、新総合事業



知多市新総合事業に関する第1層のまちづくり構想を聞く参加者ら

4月から始まる介護保険新総合事業について、2月26日、知多市第1層生活支援コーディネーターを受託予定のNPO法人ゆいの会理事、松下典子さん（前サポートちた代表理事）から、今後の取り組みを聞く会員交流会を開催した。これは、半田市NPO連絡会の希望で企画したもので、ひだまり、りんりん、絆、あかり、ゆめじろう、はっぴいわん大府、ゆいの会、びすた〜り、あいちNPO市民ネットワーク、ボランティアネイバーズの10NPO法人と常滑市、武豊町社協から23人が参加した。

冒頭、松下さんは「90年代に始めた住民互助型在宅福祉活動と同様の、市民が創るコミュニティサービスを、国も一部税金を使ってやろうということ。これまで、市内の福祉NPOや社協、行政等と開催してきたNPO包括ケアネットが知多市協議体の基盤になる」、めざすものは「共生の地域づくり」。いずれ子ども、障害者、外国人、生活困窮者をも支える「0から100歳の地域包括ケアのまちづくり」であるが、まずは高齢者を入りにしくみづくりを進めるということ、と説明した。

参加者から、具体的にどんな活動を行っていく予定かと質問があり、今想定しているものとしては、広域連合下の連携、協議体参加、2層との連携、居場所ネットワークの推進、コミュニティとの対話の場づくり、コミュニティアセスメント、各対象ごとの研修、市民啓発、居場所づくり推進と生活支援担い手育成、中間支援組織との連携等が挙げられた。

「2層でも3層でも、NPOがたすけあいの実践やマネジメントの経験を活かして、ぜひコーディネーターを担って欲しい。行政や社協とも連携して。地域はすぐには動かないが、時間はかかると腹をくくっていきましょう」との力強い言葉に、参加したNPO法人は深くうなずいていた。

生活支援サービスチームづくりの準備に入ったびすた〜りのスタッフ（障害当事者）も5人が参加、「ますますやる気になった」「楽しみになってきた」「つながって行きたい」と語っている。（岡本）

■刈谷市「協働のまつり場」

共存・協働のまちづくりの推進に向け刈谷市では、平成23年度より市民と行政の意見交換会「協働のまつり場」を開催、今年度は長寿課より提案された「介護保険制度の改正と地域ボランティアの連携に向けて」をテーマに意見交換を行った。

NPO（介護事業所、高齢者サロン）、企業、社会福祉法人、老人クラブ、民生委員の6名と、福祉総務課、健康課、長寿課、社協事業推進課、社協生活支援課、市民協働課の6名で構成されたメンバーそれぞれが持つコーディネート機能のさらなる活用を検討する中で、地域アセスメントシートを作成し、今ある地域資源や10年後の目指す姿をメンバー間で共有し、相互の協力へのヒントやアイデアを出し合った。

ネットワーク化に向けて、一つのテーマで行政と民間がじっくり話し合う意見交換の場の必要性を確認、まずは介護事業所連絡会の設置を検討する等、協議体設置への基礎をつくることを行った。（市野）



10月より円卓手法で4回開催し、メンバー間の理解と協力を確認した。（市野）

■つながるまち、あぐい推進儀業

いろいろな場所で交流や支え合い活動の担い手として活躍できるよう「地域デビューきっかけ講座」の受講を条件に、珈琲、ファッション、iPad体験、孫育てから興味あるものを選択、入門のしやすさを重点に阿久比町セカンドライフきっかけ講座を開催、延べ約80名が参加した。

本企画は、地域福祉計画の基本目標3「担い手育成」に基づき社協が提案、社会教育課（公民館事業、奉仕活動体験活動）、政策協働課、シルバー人材センター、社協ボランティアセンターの共同プロジェクト事業として担い手を支援するために、各課取組と課題の共有するなど調整会議を重ねながら進めている。

講座最終日の2月29日は、阿久比メンズクラブの諸先輩より「入り口は美味しい蕎麦を打ちたいと思ったこと」と、ボランティアのきっかけの秘訣を伝授された参加者は、目標をもって楽しく学び合うことの大切さを共有した。（市野）

■防災ママカフェ@知多市

東日本大震災復興支援PJ実行委員会は市民活動団体及び市民有志で構成、福島県南相馬市の現状を知り、子育ての応援に必要なことを模索しながら、復興支援に携わる人との交流の機会を設け、知多市民としてできるコトの情報交換を進めてきた。そのメンバーの提案より防災ママカフェを3月29日に開催する予定。(下記参照)

当日は、東日本大震災で被災した小さな子どもを持つお母さんたちの経験より、被災後1週間を乗り越える術を学び、子どもと一緒に防災食の試食体験するという内容。

実行委員会は2月末をもって解散するが、今後は市民活動センターが中心になって南相馬市の復興支援活動を呼びかけ、応援する予定。(新保)

～子どもの命を守るママになろう～

防災ママカフェ@知多市

講師 かもんまゆ氏

(スマートサイバープロジェクト特別講師)

日時：3月29日(火)11時～14時 (開場10時半)

定員：先着50名程度

会場：知多市勤労文化会館 2階研修室1

参加費：500円(防災ブック・防災食試食付き)

■中学生職場体験

知多中2年生の3名が、1月20日、21日の2日間、手作りカフェAda-codaで職場体験を行った。知多中学校では生徒の自主性を養うため、自身で体験先の職場へ連絡し、事前打ち合わせなどの準備を重ね当日に臨んでいる。

初日の開店準備、配膳、シェフの調理補助などを行い、2日目は生徒が考えたメニューで買い出しや仕込み、当日の調理まで担当し営業した。積極的に調理作業に取り組み、シェフやコーディネーターのアドバイスを受けながら、20食を完売した。



最終日は、メニューのうち、ミートドリアと夏みかんゼリーを作った

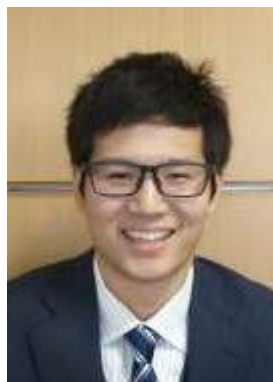
生徒たちは、「お客さまの『おいしかったよ』と声をかけてもらえたことで、やりがいを感じた」「緊張感や立ち仕事など、労働の大変さも学んだ。」と笑顔で振り返った。

Ada-codaを通じて、知多地域に様々な市民活動があり、地域を支えているということを知る機会にもなった。(安藤)

NPO担当若手職員リレー

碧南市市民協働部地域協働課

主事 原田晶さん



学生の頃から、体を動かすことが好きで、今は小学生を対象としたスポーツ教室の指導員も行っている。入庁し、担当課に配属されて2年目。担当課では、地域協働推進に関することのほか、国際交流に係わる業務も行っており、学校教育課と連携して、姉妹都市への学生派遣などを担当している。

また、市民祭り「元気ッス！へきなん」に携る中で、まちづくりに関わる多くの市民と交流することができ、人と人がつながっていくことに楽しさを感じた。

市民協働講座「会議ファシリテーション講座」に参加したことで、これまで接したことのない、市民との関わりもでき、市職員・市民がフラットに話すことができたことで、行政と市民が協働するというイメージが湧いた。担当課からの情報発信を機に、地域で何かが始まったときや、人と人がつながったとき、これまでやったことがない事に挑戦していくことに楽しさを感じ、それが仕事のやりがいにつながっている、と結んだ。(新保)

■□ サポートちたの事業予定 □■

□プロボノ「パソコン困りごと相談室」

トヨタ車体(株)IT支援サークル様によるNPO支援
 〈日時〉3月26日(土)14時～17時
 〈会場〉(N)地域福祉サポートちた事務所
 〈その他〉相談内容の概要を事前にご連絡ください。
 〈担当〉市野、江端

□介護職員初任者研修

介護職員初任者研修 豊明市民対象向けコース
 平成28年6月1日(水)～8月17日(水)
 〈会場〉知多市市民活動センター
 〈受講料〉52,000円(テキスト代・実習費込)
 〈担当〉竹内

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■自然栽培的、生き方 ～響き合う ココロ～

NPO 法人びすた〜り設立 2 周年と、ライフサポートステーションふるぽの開所記念講演会。

〈日時〉3月6日(日) 14時～17時(予定)
〈会場〉知多市こども未来館 ホール (知多市旭南 1-1)
〈参加費〉無料
〈問合せ〉(N)びすた〜り (高山) ☎ 090-4165-6992

■地域カフェ あかり

今月の催しは、相羽接骨院院長の相羽昭二先生ご指導のもと、椅子に掛けてできる手軽な体操をしたり、おしゃべりをします。気持ちと体が楽になるような時間を過ごしませんか。

〈日時〉3月9日(水)13時半～15時半 (毎月第2水曜日)
〈場所〉街かどサロンきらり ティールーム
〈定員〉20名
〈参加費〉400円 (飲み物とスイーツ)
〈申込問合せ〉(N)あかり ☎ 0569-35-4189

■第14回福祉たすけあいフォーラム 「新総合事業への取り組み」

介護予防・日常生活支援総合事業制度(新総合事業)を先行して実施する地域から取り組みの学びを共有し、「生活支援サービスA」の枠組みを中心に、地域づくりを考える。

〈日時〉3月13日(日) 10時半～16時
〈会場〉名古屋市立大学 桜山キャンパス
医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A
〈参加費〉一般 1,500円 あいち福祉ネット会員 1,000円
〈申込問合せ〉(N)あいち福祉ネット ☎ 052-979-6446
メール vns@vns.or.jp

■育自のための小さな魔法～パート2～

介護者の心が元気になる魔法の講座。自分の「好き」を思いっきり話して元気を充電。

〈日時〉3月19日(土) 10時～12時
〈場所〉半田市市民交流センター 市民活動ルーム B、C
〈参加費〉2,000円(お茶代込)
〈申込問合せ〉(N)ぱれっと ☎ 090-4235-7269
メール npo.palette.aichi@gmail.com

■スタッフ募集

放課後児童クラブ、放課後等デイサービスのスタッフを募集中です。元気で子どもが好きな方大歓迎です。

〈勤務時間〉月曜～土曜 14時～18時半
〈時給〉820円 (土曜日・時間外手当、交通費別途支給、但し条件あり)
〈勤務地〉半田市岩滑高山町 5-1 りんごびあ
〈問合せ〉(N)りんりん (下村、村上) ☎ 0569-47-5228

■認知症ストーリーケア

予防からケアまで、渡邊哲雄が語る実体験

日常的に認知症患者と向き合う生活者にとって遭遇する場面に応じたヒントがち散りばめられたお話をお聞きする。

〈日時〉3月27日(日) 10時～12時 〈入場料〉無料
〈会場〉波の音こども園 ホール (常滑市塩田町 1-155)
〈問合せ〉(N)あかり ☎ 0569-35-4189

■四国霊場巡拝の旅 2泊3日バスツアー

四国八十八か所霊場 23か所目「薬王寺」～34か所目「種間寺」を巡礼。

〈日時〉5月15日(日)～17日(火)
〈行き先〉阿波・土佐の国(徳島県・高知県) 〈定員〉10名
〈参加費〉4名1室 43,900円 3名1室 46,900円
2名1室 49,900円 ※非会員の参加可
〈申込期間〉3月19日(土)～4月16日(土)
〈その他〉相部屋、1名での参加、催行最少人数に達しなかった場合は中止。
〈申込問合せ〉(N)ゆめフルたけとスポーツクラブ
武豊町総合体育館内 ☎ 0569-84-1100

■ラジオ番組告知募集 「集まれ！告知一ず！」

〈受付〉平日 12時～14時 ※事前予約不要
〈出演時間〉5分～8分程度 (無料)
〈出演要件〉東海市と知多市に在住・在勤・在学、または両市を拠点に活動している個人及び団体
〈条件〉出演規約の遵守
〈問合せ〉(株)知多メディアス
メディアスエフエム(酒井) ☎ 0562-33-1061



NPO現場見学バスツアー NPOって、なあに？

〈日時〉4月21日(木) 9時半～17時
〈定員〉26名 〈参加費〉5,200円

今春、NPOに携わる方へ
わかりやすい入門編、ぜひご参加ください！
(担当：江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743